

共に伸び、共に輝け、感謝・感動

しなやか えだわん



えだわんだより

横浜市立荏田東第一小学校

〒224-0006 横浜市都筑区荏田東三丁目5番1号

Tel...045-941-7630 Fax...045-942-9464

5月

空に躍るや

学校長 熊谷 潤平

まだ、入学式を終えて間もない1年生。校舎内や校庭を歩いていると、「エンチョーセンサー！」と呼ぶ声が。すかさずお友達が、「校長先生だよ。」と諭します。ついこの間まで、幼稚園・保育園児だった新入生の無邪気な言葉を聞けば、「園長先生」でも「校長先生」でも、どちらでもいいかな…と思うのは私だけではないはずです。

有名評論家になったつもりで物語文の「特別解説書」を書く学習をしている6年生。あんまり熱心に登場人物の相互関係や人物像を「解説」しているものだから、「すばらしいねえ。さすが有名評論家！」と褒めれば、「いや、俺たち、『超』有名評論家！」と鼻高々の笑顔。6年生も、6年生ならではのかわいさがあります。

どこからともなく聞こえてくる子どもらしいつぶやきの声。最近よくテレビで流れている某乳酸菌飲料のコマーシャルを見ての影響か、「イッチョウコ…。乳酸菌ってさあ、いくつあればいいのかな。」思わず吹き出してしまいましたが、「なるほど確かにそうだ。いくつあれば足りるんだ？」と共感もしてしまいました。

繰り返し、いつも述べていることですが、何気ない子どもたちの言葉に、笑顔に、動きに、のどかな幸せとありがたみを感じます。

当然、のどかで幸せな瞬間ばかりではありません。

Aさんが歯を打った。Bさんが頭をぶつけた。CさんとDさんがけんかをしてしまった。EさんがFさんに嫌なことをされたと訴えている。いじめではないか…。

冷やりとすること、はっとすることが、決して少ないとは言えないのが学校です。もちろん、安全・安心を最優先にしているわけですから、事故も怪我也意地悪もいじめも限りなく、「ゼロ」に近づけるべく注意を払う日々です。

それでも、地域の方や、保護者の方から、様々な御指摘やお叱りを頂くことはあります。「学校の対応は甘いのではないか、緩いのではないか。」という御指摘も、ときには頂きます。心情的には、「いや、そんなつもりでは…。」とか、「学校は学校なりに精いっぱい…」とか言い訳をしたくなる気持ちにならないではないですが、こうした声というのは的確であることも多く、そう思わせてしまったことに目を背けるわけにはいきません。耳の痛い声・言い訳をしたくなる声にもしっかりと耳を傾け、真摯に向き合わなくては学校も成長していきません。全市で推進している「誰もが、安心して、豊かに」なんて実現できなくなってしまいます。

つい先日は、令和4年度の横浜市学力・学習状況調査が行われました。学力はもちろんですが、学習に向かう姿勢や生活状況も気になります。一人一人が、昨年より「自分にはよいところがある」と思っていればいい。「自分のことが好き」と思っていればいい。ほんの少しでも「学習が好き」になっていればいい…。

一人一人の安心・安全に細心の注意を払いつつ、まずは一時間一時間の授業を少しでも楽しく豊かにし、子どもの心に火をつけられるよう、また明日から、努めていきたいと思えます。

高く泳ぐや鯉のぼり。空に躍るや鯉のぼり。えだわんの子もまた高く昇れ。百瀬の滝を登り、いずれ竜になる鯉のぼりに、えだわんの子の姿を重ねる、この5月です。

